

宮城県、浦戸諸島の牡蠣を救おう！

「うらと海の子再生プロジェクト」への協力



<Association des Saveurs Franco-Japonaise et de l'Artisanat>

支援金のお願い

その美しい光景から、かの松尾芭蕉も愛した松島。観光地として現在も名高いのは隣接する浦戸諸島のおいしい牡蠣が貢献していたからです。東日本大震災。その浦戸の牡蠣業はほぼ壊滅状態、すべてが破壊され、津波に流されてしまいました。しかし海から、かろうじて生き残った牡蠣が見つかったのです。その数、ほんの一割.....しかしそれは復興のシンボルでした。浦戸の牡蠣業の人々は、かつての海の幸の再生に全力を注いでいます。

ASFJA (農産物の日仏交流会) はこの度、ブルターニュ貝類漁業組合からの浦戸への協力もとりつけました。諸島という特異で厳しい自然の中、これからの新しい牡蠣養殖業の在り方を目指す「うらと海の子再生プロジェクト」へ長期間にわたるであろう物資提供、ブルターニュとの文化、日仏の漁業交流を目指します。

とはいえ、まだまだ果てしない問題が□□失われた船や器具、機材、機械など、牡蠣養殖業にとって肝心かなめのものを取り戻さなければ、彼らの復興は成り立たないのです。そしてそれには多大な費用が必要なのです。

そこで **ASFJA** は皆様のご協力をお願いします。

ASFJA 会員募集

ASFJA は日仏の農漁業、畜産、パンやお菓子などの食品生産、安全で優れた食に関する技術交流や支援をし、両国を結んでいこうとする団体です。これからのさらなる活動にあたって、応援して下さる方を広く募集させていただきます。一人でも多くの会員や支援者の存在が生産者の励みになり、日仏食文化の絆と発展につながるのです。

一口 15ユーロ または 1700円 から受け付けさせていただきます。

小切手やご送金のあて先は、お名前、ご住所、ご連絡先、何口分か、などを添え、お手数ですが asfja.fr@hotmail.com までご連絡ください。ご案内をさせていただきます。その他、ご質問、お問い合わせなども承ります。

ASFJA 会長 ベルナール・アズナレズ 副会長 花野敬子